

日本組織培養学会

昭和46年4月30日発行

会員通信  
第14号

発行責任者

佐藤 温 重

梅田 誠

横浜市南区浦舟町

横浜市立大学 医学部

045 (231) 2081

日本組織培養学会第29回研究会に於ける総会の経過報告

1970年6月19日、20日と山田正篤氏(東大・薬)のお世話で第29回研究会が開催されたが、その際総会において協議または承認された事項につき簡単に報告する。

(以下いずれも承認事項)

1. 新入会員(順序不同)

小山 秀 機 (融研究所, 生化学部)

中 沢 南 堂 (東京大学 医学部 放射線基礎医学教室)

森 山 雄 吉 (日本医科大学 病理学教室)

毛 利 哲 郎 (千葉大学 薬学部 薬物学教室)

久米川 正 好 (大阪大学 歯学部 口腔解剖学教室 現城西歯科大学 口腔解剖学  
第1講座)

2. 昭和44年度決算報告書

収入の部

正会員会費	128,500 <sup>円</sup>
賛助会員会費	270,000
文部省補助金	200,000
43年度繰越金	115,851
銀行預金利息	4,179
その他*	2,793
計	721,323 <sup>円</sup>

\* Annual Bibliography売上げ金

支出の部

各種刊行費

Annual Bibliography	467,600 <sup>円</sup>
会員通信	4,995
会員名簿	51,380
郵送費 <sup>1)</sup>	53,835
幹事選挙費	5,655
事務費 <sup>2)</sup>	20,000

その他<sup>3)</sup> 40,000

計 643,465<sup>円</sup>

1) Bibliography 国内送料 15,210 2) アルバイト料  
国外送料 24,270

その他 14,355

3) "クローン培養..." (医学のあゆみ収載) 非会員原稿料を返却

昭和45年度繰越金 77,858円

3. 常任会計幹事の交代

これまでの常任会計幹事高岡聡子氏(東大・医科研)に代って昭和45年度より遠藤浩良氏(東大・薬)が引き継ぐ。但し、3ヶ年を限度とするとの条件つき。

4. 外国会員の会費は年間5ドルとする。

5. 研究会

★ 次回第30回研究会(昭和45年秋)

世話人 岡田善雄氏(阪大, 微研)

シンポジウム 「培養細胞のマーカー」

★ 次々会第31回研究会(昭和46年春)

世話人 堀田 進氏(神戸大, 医, 微生物)

シンポジウム 「ウイルスと培養細胞の相互作用」

6. Bibliography (特になし)

7. 「会員通信」

これまでの世話人佐藤二郎氏(岡大, 癌源研, 病理), 喜多村勇氏(岡大, 医, 小児)に代って佐藤温重氏(横浜市大, 医, 薬理), 梅田誠氏(横浜市大, 医, 組織培養)が昭和45年度より引き継ぐ。

(以下協議事項)

1. 「会員通信」

原稿不足につき今後ともに会員の情報交換の場としてどんどん利用してほしい。また「会員通報」発行の期日を明確にする要あり。

2. Bibliography

a) 黒田行昭氏(遺伝研, 形質)に代わる次期Bibliography世話人につき話題になるも、決定には到らなかった。

b) Bibliographyの内容及び配布先の検討が学会開催補助と関連して問題となり、一般会員からこの点につき意見を徴集した。後日幹事会において検討する予定。

次 日本組織培養学会第30回研究会における総会の経過報告

昨年暮12月3, 4日の両日, 阪大微研(世話人, 岡田善雄氏)において第30回研究会が開催された。研究会にさきだち前日には東西両幹事およびBibliography編集担当者, 研究会発

起人、次回研究会世話人など関係者にお集りいただき、“学会の基本的あり方に関する問題”と題して、組織培養学会がこれまでにかかえてきた未解決の問題、さらには当面する問題などが再確認され討議された。これらはいずれ次回研究会（神戸）においても引き続き討議される予定である。従ってここでは第30回研究会での総会記録を簡単にとりまとめて報告する。

〔会計中間報告〕

山田正篤氏より中間報告あり、現時点では本年度は健全財政。

〔次回研究会世話人〕

堀田 進氏（神戸大、医、微）

シンポジウム：「培養細胞とウイルスの相互作用」

日 時： 5月28日（金）、29日（土）、1971年

場 所： 兵庫県民会館

神戸市生田区下山手通4丁目

TEL 078 (32) 2131

〔次々回研究会世話人〕

梅田 誠氏（横浜市大、医、組織培養）

シンポジウム、日時、場所等、未定

〔新入会員〕

総会において承認された方々は、以下の通り。

色 田 幹 雄 （放医研、薬学研究部）

藤 原 美 定 （神戸大、医、放基医）

豊 島 桂 次 （奈良県立医大、第2病理）

尚、手続き上総会には間に合わず、後日持ち廻り幹事会において入会が承認された人。

Dr. Joseph Leighton

Department of Pathology

University of Pittsburgh School of Medicine ,

Pittsburgh , Pennsylvania 15213

U . S . A .

〔Bibliography 関係〕

黒田行昭氏より報告あり、発送は来年早々（1971年早々）の予定。

また以前から問題とされている Bibliography 編集担当の交代の件につき、種々討議されたにも拘らず結論は出ず。結局1971年一杯は黒田氏が（幹事を含めて、数名の会員に委託しながら）引き続きお世話下さることになった。従ってそれまでに結論を出す要あり。

〔その他の事項〕

a) 研究会開催補助について

従来の研究会の開催はすべて世話人1人にまかせられた。山田会計幹事からのこれまで

の会計中間報告の結果からみて、また研究会世話人の負担を少しでも軽減する目的から幹事において研究会世話人に3万円の補助金を渡すことが提案された。またこのことは総会においても承認された。

b) 健全財政維持のために次のことが幹事会から提案、報告された。

会費値上げ

賛助会費を増やす

名簿発行を隔年とする

Bibliographyへの抄録掲載料をとる

これらはいずれも総会において結論を出す段階には至っていない。

★ 次回第31回研究会

期日 昭和46年5月28日(金)、29日(土)

場所 兵庫県民会館 神戸市生田区下山手通4丁目

TEL 078 (32) 2131

世話人 堀田 進

神戸大、医、微生物 TEL 078 (34) 7451

シンポジウム 「培養細胞とウイルスの相互作用」

堀田 進氏の談話

「充分時間をとって討議したい。

最近形式化して突込んだ討議が少ない様であるが、少しはめをはずしても良いから是非充分討議して欲しい。」

★ 幹事改選報告

昭和45年度新幹事

東部地区 梅田 誠 後藤 正義

西部地区 堀川 正克 角 永 武夫

昭和46年度改選の結果

投票者総数 44名(全員有効投票)

全国を東、西の2地区に分け、それぞれ2名ずつ選んでいただいた結果、

東部地区 投票数88票 うち 有効票 82票  
無効票 5票  
白票 1票

当選 奥村 秀夫 得票数 27

当選 小山 秀機 " 13

次点 松谷 豊 " 9 以下略

西部地区 投票数88票 うち 有効票 77票  
無効票 6票

	白 票	5 票	
当選	難 波 正 義	得票数	18
当選	土井田 幸 郎	"	11
次点	古 山 順 一	"	10 以下略

以上の結果より、1971年度の幹事は当選なされた上記4氏と現幹事(粁)後藤正義、梅田誠、(回)堀川正克、角永武夫、4氏計8氏にお願いし、学会運営のお世話をしてくることに  
なることとします。

世話人 大阪大学微生物病研究所 角 永 武 夫

### ✪ 会員の住所変更

#### 住所変更に関する件

既に1971年発行の名簿に記載してありますが、以下の方々の住所、所属が変更になりました。

鳥 倉 享次郎	遠 藤 元 繁
加 納 永 一	吉 田 清 三
渡 辺 郁 雄	新 津 恒 良 (電話のみ)

#### 住所表示改正に伴う変更

以下の大学、研究所の住所が変わっております。1971年発行名簿に訂正してありますので御  
注意下さい。

癌研究会癌研究所、東北大学医学部、農学部、歯学部

東北大学医学部抗酸菌病研究所

尚、会員名簿に誤り、記載もれがありました。

大阪大学微生物病研究所 TEL 068 (78) 5121

東北大学医学部微生物学教室 仙台市星陵町1-1

### ✪ 新賛助会員

大五栄養化学株式会社 名簿記載済み

ニューサイエンス社

〒101 東京都千代田区神田錦町3-21

TEL 03 (294) 5673

日本ミリボア・リミテッド

〒108 東京都港区白金台1-4-15

TEL 03 (443) 4514

### ✪ 計 報

京都大学医学部解剖学教室の末岡修氏は昨年逝去されました。遅くなりましたがお知らせいた  
します。

❧ 会員州国のお知らせ

既に御存知と思われませんが、次の方々が、海外留学より州国されて居られます。

加納 永一      土井田 幸郎      奥村 秀夫  
古川 利温      須田 立雄

❧ 会計幹事よりのお知らせ

昭和45年7月27日付（東京・四谷局から郵便振替で45年度会費1,000円を送られた会員の方へ。

払込人住所氏名欄に東大・薬・生理化学教室内日本組織培養学会遠藤浩良と書かれて、御本人の氏名が不明です。心あたりの方は御申出下さい。

❧ 個人通信

旧会計幹事 高岡聡子氏より

足かけ3年の会計幹事を定年退職いたしました。会員の皆さま、賛助会員の皆さま、いろいろと御協力下さいまして有がとうございました。せつせとかき集めてもビプリオグラフィを発刊するとスッカラカンになってしまうという培養学会のお台所のやりくりはなかなか大変でした。会費の値上げを提案したらば、その時折り悪しくビプリオグラフィ代を支払っていなくて黒字の帳尻だった為に「何故値上げの必要があるか」と叱られたり、「将来計画委員会の費用が会員会費100人分にも相当するではないか」と叱られたこともありました。せめて予算のたつ会計にしたいと帳簿をニランデもどうにもならず、幹事の皆さんと収入源について頭をひねったこともありました。そして結局会員の会費倍増、賛助会員の会費増口にふみ切り、どうやら1969年度も黒字で終ることが出来ました。しかし一方建設的に考えると、いろいろと問題の多いお台所ですから、皆さんもせめて会費完納に御協力下さいませ。

\* 慶応の豊島滋、瀬戸淑子、原洋二、諸先生は退会に際して、会費を完納して下さいました。会費未納のままお返事も頂けなくなってしまう方々の多い中で本当に嬉しいことでした。

会員の方々の会費未納について（敬称を略させていただきます）

1966年から未納の方（¥3,500）

田中 信 男

1967年から未納の方（¥3,000）

名 倉 英 明 川 喜 田 愛 郎

1968年から未納の方（¥2,500）

清 水 悠 紀 臣	石 田 名 香 雄	田 沼 頼 夫	佐 藤 一 英
渡 部 郁 夫	富 永 淳	吉 岡 勇 雄	伊 沢 久 夫
甲 野 礼 作	中 村 逸 雄	須 田 立 雄	新 津 恒 良
岩 崎 謙 二	河 合 和 夫	小 川 透	柴 田 寛 一
加 納 永 一	松 山 慎 一	増 田 正 典	滝 野 辰 郎
伊 藤 英 太 郎	竹 田 正 司	加 藤 四 郎	小 川 和 朗
青 木 英 夫	喜 田 村 勇	瀬 戸 武 司	鈴 木 茂 美

◇ 幹 事 註

1969年度末現在の未納者  
です。その後、会費を納入  
された方には失礼いたしま  
す。

先生方どうぞ次期研究会会場で納入なさって下さい。出席不可能な方は「東京都文京区本郷 東大薬学部生理化学教室 遠藤浩良」宛に御送金下さいませ。高岡聡子（1970-3-31記）

旧会員通信係 佐藤二郎氏より

培養学会の通信の件で会員の皆さんに大変御迷惑をおかけいたしました。住所変更、会計報告、次回案内等必要事項の遅れが、熱心な会員の皆さんに御不便をかけたことを深くお詫びいたします。今後は横浜市立大学医学部佐藤温重、梅田誠両氏の許で発行されることになります。会員間の連絡その他宜しくお願いいたします。

勝田 甫氏より

先に、別刷“日本における組織培養細胞株の維持現況”蛋白質 核酸 酵素, Vol.15, No.5, 645-654, 1970をお送り致しましたが、下記のように一部改訂致したく、よろしく御配慮のほどお願い申し上げます。

記

☆p. 647, 下から9,8,7行目のL5, S3-9IV, B16-XI株は維持責任者所属一福島県立医科大学・細菌となっているが、放医研・生理病理に訂正。

☆p. 651, 下から14行目, 信大・医・ウイルスは, 金沢大・癌研・ウイルスに訂正。

☆p. 651, 下から9行目, 三重県立医大・微生物は, 三重県立大・医・微生物に訂正。

☆p. 651, 下から6行目, 京大・ウイルス研・病理は病理を削除, 京大・ウイルス研となる。

☆p. 652, 下から7, 6, 5, 4, 3, 2行目のFL, Ekp, HeLa, pS, JTC-3 E株は, 維持責任者所属一神戸大・医・微生物になっているが, 岡山大・医・小児科に訂正。

☆p. 645, の上から6行目, 長大・医・ウイルスを長大・熱研・ウイルスに訂正。

✽ 会員の住所変更の追加

Dr. Kouichi Takano  
Life Sciences Division  
Meloy Laboratories,  
6631 Iron Place, Springfield,  
Virginia 22151,  
U.S.A.

✽ 編集後記

会員通信 第12号よりの編集を、横浜市大・医が担当することになりました。通信というものの持たねばならない適時性を充分考慮して発行をおこないたいと考えています。会員諸兄の投稿を歓迎いたします。

(佐藤，梅田)